

担当教員 卯田宗平				
開始時期 後期	開講期間 半期	科目番号 20DCSc02	授業形態 講義、演習	単位 2
キーワード 日本民俗学、生業論、技術・技能論		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 比較技術研究Ⅱ				
科目名称：英語 Lecture II (Anthropology of Technology)				
科目の概要：日本語 「生業と技術の民俗学」				
科目の概要：英語 Folklore of Subsistence and Technology				
<p>科目の目的：</p> <p>受講学生が日本列島の水田稲作や焼畑農耕、狩猟、沿岸漁業、内水面漁業を取り上げた民俗学的研究の動向を知り、体系的に説明できるようになることを目的とする。</p> <p>日本列島においてさまざまな生業形態に注目してきた民俗学的研究を一つひとつ取り上げ、その研究の成果と課題、全体としての研究動向を理解する。この作業を通じて、「斜陽の学問」とも揶揄される民俗学の現代社会における展開可能性を探る。</p>				
<p>学習成果・習得する技能や知識：</p> <p>日本列島において生業活動を調査研究するためのアプローチを理解するとともに、生業活動に関わる既往の理論（コモンズ論やマイナーサブシステム論、複合生業論、リバランス論など）も説明できるようになる。</p>				
<p>成績評価方法・基準：</p> <p>授業への参加貢献と毎回の課題内容により評価する</p>				
<p>授業内容：</p> <p>本科目の内容は以下の通りである。</p> <p>第1回～第3回：民俗学や生態人類学における生業研究の動向</p> <p>第4回～第6回：水田稲作農耕に関わる研究論文の解説と課題の抽出</p> <p>第7回～第8回：焼畑農耕に関わる研究論文の解説と課題の抽出</p> <p>第9回～10回：狩猟活動に関わる研究論文の解説と課題の抽出</p> <p>第11回～13回：沿岸漁業および内水面漁業に関わる研究論文の解説と課題の抽出</p> <p>第14回～15回：日本民俗学の展開可能性に関わるディスカッション</p>				
<p>日程：</p> <p>出張等の日程に応じて調整する</p>				

実施場所： 演習室もしくは大学院セミナー室
使用言語： 日本語
その他使用言語： なし
準備学習： 指定した論文や図書を事前に読んで、レポートを準備しておくこと
関連科目・履修条件： なし
教科書・必読書： 授業中に説明する
参考書・その他の教材： 授業中に説明する
備考： 受講希望者は登録前に授業担当者にメールなどで連絡を取ること。 地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可